

一年生での漢字学習の実践から



加藤学園暁秀初等学校 神戸 由美

<http://www.katoh-net.ac.jp/Elementary/>

この漢字をみんなに紹介してよ! 二〇〇三年九月

新しい漢字を紹介していると、「ねえ、ぼくの高橋の橋やって」「稜(りやう)って漢字は、いつみんなに紹介するの?」のようなリクエストの声が多数。「そうか、子どもたちは、みんなに紹介したい漢字があるんだ!」と思いました。そこで、自分がみんなに紹介したい漢字を一人一漢字、画用紙に書いてもらいました。読み方、書き順やイラストをつけた子もいます。これらを、順次クラスの人々に紹介しました。

子どもたちが選んだ漢字は、以下のとおりです。

●自分の名前の漢字から 塚 秀 成 眞 優 眞 藤 諭 橋 美 祐 梨 菜 恵 郎 稜 間 若 渡 瀬

知っている漢字は気づく 二〇〇三年十一月四日

今日は「牛」を練習しました。

「牛」を練習していると、「牛乳の牛」「牛井の牛」という言葉が出てきましたので、「乳」と「井」も紹介しました。「井」の点をとる松井の井「武井美晴ちゃんの井」というわけで、「井」も練習しました。この学習は午前中。この日のお弁当の時間。牛乳パックの「牛乳」の文字を見て、「牛乳っていう漢字があった、あった」と叫んでいました。自分が練習をしたので、今まで気がつかなかった漢字に気がつくようになったのでしよう。

芋づる式漢字練習 二〇〇三年九月

「正」を教えました。すると、「最初の棒を取ると止まるになる。」「中止の止だよ。」すると、「それ(止)、真歩の歩に入ってる。」と言ったのは真歩さん。そこで、正↓止↓歩↓真を練習しました。

次に「石」を練習しました。すると、「それ、石岡千明ちゃんの石。」という声。そこで、「石・岡・千・明」を練習しました。すると、「それ、ぼくの岡村の岡。」と言ったのは岡村君。ついでに「村」を復習しました。「千明ちゃんの名前はわたしの漢字の中に入っている。」と言ったのは萌香さん。「石に山をつけると岩になる。」という声

●名前以外から 肉 地 南 蹴 個 熱 驚 負 牛 思ったとおり、自分の名前の漢字が多かったです。なるべく画数の多い漢字「蹴、熱、驚」を探して書いた子どももいました。

漢字を紹介すると、「あ、これ(美)は、論美ちゃんの名。」、南という漢字を見ると、「あつ、これ潤君の(紹介した)漢字。」のようなことをよく言います。

子どもは、漢字をよく見ている 二〇〇三年九月五日

数に関する漢字、百と千を教えました。「一・十・百・千だね。」と言うと、「次は万。」と得意げに言う子。すると、やはりいました。「次は億で、その次は兆。」と言う子。というわけで、「億、兆」も練習しました。「億」はにんべん(一) 十音十心。「兆」を書きながら「なんだか北に似ている。」と言う子。「兆にきへん(木)を付けると桃子(自分の妹の名前)の桃。」

「億は山上憶良の憶に似てる!」「万は万葉集の方ですよ。」という声。そう、十五夜に向けて『万葉集より(山上憶良 秋の七草)』を読んでいたのです。子どもたちは漢字をよく見ています。

も。というわけで、石↓石・岡・千・明↓村↓萌↓岩を練習しました。

復習で「力」を書いていると、「上が出ないと刀。」と子どもが言いました。子どもから「刃」が出るかと思いましたが出ませんでしたので、「ちよんを付けると刃になるよ。」と言いました。「力に口を付けると加藤学園の加だ。」これは子どもから。このように、力から始まって「力・刀・刃・加」をセットで覚えました。

こんなふうになっていると、どんな漢字を練習するか計画がたちません。でも、そこがおもしろいところ。今日はどんな漢字が飛び出すか、楽しい日々です。

